

畜産農家で採胚を実施

7月1日、バイオカウライナー（採胚専用車）で亀岡市の酪農家へ出向き、南丹家畜保健衛生所の協力を得て、乳用牛の採胚を実施しました。

採取した5つの胚は、2胚を当日2頭に直接移植し、3胚を凍結保存しました。

今年度も、乳用牛と肉用牛について農家採胚を予定し、優良牛の改良増殖に努めることとしています。



乳用牛の胚を採取

畜産技術センター